

平成25年度大学発新産業創出拠点プロジェクト(プロジェクト支援型)
採択プロジェクト一覧(第2サイクル審査分)

(機関名五十音順)

	プロジェクトの名称	機関名 (研究開発機関)	研究代表者	事業プロモーター ユニット	プロジェクトの概要
1	多機能エネルギーセンサによる革新的省電力ソリューション技術の開発	公立大学法人大阪市立大学	大阪市立大学大学院工学研究科 教授 辻本 浩章	つくばテクノロジーシード株式会社	本プロジェクトは、従来の電力センサとは異なる原理により、高機能、多機能、低価格を特長とする磁性薄膜エネルギーセンサを開発するものである。特にコンパクト化が可能になることから、これまで適用することが出来なかった部位に多次元的に配置することにより、革新的な省電力ソリューション技術の確立を図り、その多用途展開による事業化を目指す。
2	電界共振型生体センシング、およびセンシングデータ解析システムの開発	国立大学法人九州工業大学	九州工業大学産学連携推進センター 教授 佐藤 寧	DBJキャピタル株式会社	本プロジェクトは、世界で唯一、非接触で歩行時でも、行動、呼吸、心拍、脈波変動、血圧までを計測できる生体センサを開発するものである。本センサを実用化し量産することで、見守りサービスや自動車関連分野等で、従来の赤外線センサではできなかった、付加価値の高いサービス事業の実現を目指す。
3	「関係性システム」を活用したレコメンドシステムの事業化	国立大学法人京都大学	京都大学大学院情報学研究科 准教授 新熊 亮一	ウエルインベストメント株式会社	本プロジェクトは、将来を予測する「関係性技術」に基づき、ビッグデータから消費者の潜在的ニーズを先読みして個人の好みや趣向にあった商品やサービスを自動的に提示する「レコメンドシステム」を開発し、事業化を目指す。
4	無機過電流保護素子	国立大学法人名古屋大学	名古屋大学大学院工学研究科 准教授 小橋 真	つくばテクノロジーシード株式会社	本プロジェクトは、新規の無機固体複合材料から成る優れた遮断特性を有する過電流保護素子を開発し事業化を図る。複合材料設計により大電流素子を実用化し、従来の材料では不可能だった電流域の超小型安全部品素子を開発し、モーターの過負荷保護、自己温調ヒーター、Liイオン電池保護用途に向けた生産技術・商品化技術開発とその事業化を目指す。
5	微細印刷集積回路に向けた高精細、高機能な銀ナノ粒子インクの開発、製造・販売	国立大学法人山形大学	山形大学大学院理工学研究科 助教 熊木 大介	東北イノベーションキャピタル株式会社	本プロジェクトは、銀ナノ粒子インクに関するシーズ技術を発展させ、次世代プリンテッドエレクトロニクス製品である印刷RFIDタグ(無線ICチップ)やフレキシブルディスプレイなどの印刷集積回路に応用できる高機能銀ナノ粒子インクの開発及び製造・販売による事業化を目指す。